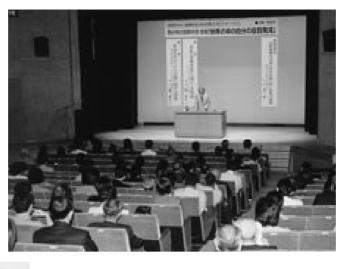
パッサウ独日協会フェリックス会長来秋

界の中の一員として貢献することの 協働のための青少年フォーラム」。 世 表を市民約三百人が聴講しました。 意義や現状についての講演、 基調講演を行った美術工芸短大の 十月六日に行われた「国際共生

あげ、 展開していくことを話しました。 の交流の場と機会づくり」と「ロシア、 で市が果たす役割として、市民レベル みることが必要」と、世界と自分の日 どを例にあげ「世界のどこかで災害や ビジネス面へのサポートの必要性」を で佐竹市長は、これからの国際交流 ス。また、パネルディスカッション 常生活を結びつけることをアドバイ なことができるかと 事件が起きたときに、自分ならどん 石川好学長は、米国同時多発テロな より開かれた国際交流施策を 韓国との環日本海貿易など イメージ して



ウラジオストク市の訪問体 験を発表する武藤博子さん

鈴木一生さん (豊岩中3年) きてよかったです。 みなさんにPRがで 表が体験発表をして る地雷撲滅運動の代 自分も参加して 聴講者は•••••••••••

の内容は、 なにも話したいと思います。 ことが大事だと実感しました。講演 分の意見をしっかり持って行動する 世界と交流していくには、まず自 機会があれば学校のみん

しました。

大切にしていきたいですね。

地域で生まれた交流の輪

素敵な交流... 大顔は世界共通語

町内の婦人部のみなさんと学 察などのため来秋しました。 教員が、教育・文化施設の視 いた二十二人のアフリカ女性 際協力事業団(JICA)が招 校生活や子育ての情報交換を ん宅(飯島)にホームステイ。 フランセス・イシンペイさ (ルワンダ)は、 九月十九日から九日間、 中村和博さ



*** 昨今のドイツの経過 昨今のドイツを語る 姉妹都市のドイツ・パッ



や税制度の改善・改革が重要子・高齢化が進むいま、年金社会問題を日本語で語り、少 傾けていました。 今のドイツの話題」をテー ウ市からザシャ・フェリッ の課題に聴講者も真剣に耳を であることを説明。 に講演会が行われました。 ス独日協会会長を招いて「 ジでご覧いただけます。 講演内容は、 ドイツの労働や人口などの 市のホー 各国共通 昨 ク マ

イシンペイさん(前列)と下飯島町内婦人部のみなさん